



ATA 190 の仕様

物理的仕様

表 A-1 物理仕様

説明	仕様
適合規格の遵守	FCC (Part 15 クラス B)、CE、ICES-003、A-Tick 認定、危険物質に関する制限 (RoHS)、UL
電源モジュール	DC 入力電圧: 5V DC (2.0A 時電力消費: 5W) スイッチング タイプ (100 ~ 240V): 自動 電源アダプタ: 100 ~ 240V および 50 ~ 60 Hz (26 ~ 34 VA) 入力、1.8m コード付き
インジケータ ライト および LED	電話機 1、電話機 2、ネットワーク、電源
マニュアル	クイック スタート ガイド アドミニストレーション ガイド (オンライン) プロビジョニング ガイド (オンライン)
寸法 (幅 X 高さ X 奥行)	101 X 101 X 28 mm (3.98 X 3.98 X 1.10 インチ)
単位重量	153 g (5.40 オンス)

電気仕様

表 A-2 電気仕様

説明	仕様
電源	0.25 ~ 12W (ピーク時 ~ アイドル時)
DC 入力電圧	5.0 VDC (最大 2.0A 時)
電源アダプタ	汎用 AC/DC 最大 10.3 X 4.9 X 3.35 cm (最大 4.05 X 1.93 X 1.31 インチ) 最大 120 g (4.23 オンス) (AC 入力の外部電源アダプタの場合) 最大 1.5 m (4.9 フィート) の DC コード 1.8 m (6 フィート) のコード UL/cUL (CE 認定) クラス I アダプタ

環境仕様

表 A-3 環境仕様

説明	仕様
動作温度	32 ~ 113°F (0 ~ 45°C)
温度 (非動作時)	-13 ~ 158°F (-25 ~ 70°C)
湿度 (動作時)	10 ~ 90 % (結露しないこと)
保管湿度	10 ~ 90 % (結露しないこと)

物理インターフェイス

表 A-4 物理インターフェイス

説明	仕様
イーサネット	RJ-45 コネクタ 1 個、IEEE 802.3 100BaseT 標準
アナログ電話機	RJ-11 FXS 音声ポート 2 個
電源	5 VDC 電源コネクタ

呼び出し音の特性

表 A-5 呼び出し音の特性

説明	仕様
各 RJ-11 FXS ポートのヒント/リング インターフェイス (SLIC)	
リング電圧	70V _{RMS} (標準、平衡呼び出しのみ)
呼び出し音間隔	20 Hz
リング波形	台形 (波高因子 1.2 ~ 1.6)
リング負荷	1400 Ω + 40μF
リンガー等価番号 (REN)	RJ-11 FXS ポートあたり最大 3 REN
ループ インピーダンス	最大 200 Ω (さらに最大 430 Ω の電話機 DC 抵抗)
オンフック/オフフック特性	
オンフック電圧 (ヒント/リング)	-47V
オフフック電流	24 mA (定格)
RJ-11 FXS ポート終端インピーダンス オプション	ATA 190-II が提供するマルチ インピーダンスには、北米 SKU 用の 600 Ω、欧州 SKU 用の 900 Ω、オーストラリア SKU 用の 220 Ω (820 Ω 120nF) などがあります。

ソフトウェア仕様

表 A-6 ソフトウェア仕様 (すべてのプロトコル)

説明	仕様
コール プログレス トーン	周期は 2 通り、オン/オフ パルスは 1 通りを設定可能
デュアルトーン多重周波数 (DTMF)	DTMF トーン検出および生成
Fax	<p>FAX パススルーおよび T.38 ファクス リレー モード。</p> <p>V34 ファクスはパススルー モードでサポートされます。最大 33.6 kb/s の FAX 送信が成功するかどうかは、ネットワーク条件と、その条件に対する FAX モデム/FAX 機の許容度によって決まります。ネットワークでのネットワーク ジッタ、ネットワーク遅延、およびパケット損失率は、ある程度低くしなければなりません。</p> <p>ATA 190 は T38 FAX リレー バージョン 0 (G3) のみをサポートしています。</p>

表 A-6 ソフトウェア仕様(すべてのプロトコル) (続き)

説明	仕様
回線エコー キャンセレーション	<ul style="list-style-type: none"> 各ポートのエコー キャンセラ エコー長 8 ミリ秒 非線形エコー抑制(周波数 300 ~ 2400 Hz の場合、ERL > 28 dB) コンバージェンス時間 250 ミリ秒 ERLE = 10 ~ 20 dB ダブルトーク検出
アウトオブバンド DTMF	SIP の RFC 2833 AVT トーン (注) RFC 2833 とインバンド シグナリングを同時に送信することはできません。
設定	<ul style="list-style-type: none"> DHCP(RFC 2131) 組み込み Web サーバによる Web 設定 基本ブート設定(RFC 1350 TFTP プロファイル) ダイヤル プラン設定 Cisco Discovery Protocol
QoS	<ul style="list-style-type: none"> サービス クラス (CoS) ビット タギング (802.1P) タイプ オブ サービス (ToS) ビット タギング
セキュリティ	TFTP コンフィギュレーション ファイルの RC4 暗号化
音声コーデック/デコーデック(コーデック)	<ul style="list-style-type: none"> G.729A、G.729AB G.711A-law G.711μ-law
音声機能	<ul style="list-style-type: none"> 音声アクティビティ検出 (VAD) コンフォート ノイズ生成 (CNG) ダイナミック ジッタ バッファ (適応型)
Voice-over-IP (VoIP) プロトコル	SIP (RFC 3261)

SIP 準拠に関する参照情報

RFC 2543 で定義されている SIP の IETF 定義に関する ATA 190 の準拠状況については、次の URL を参照してください。

<http://www.ietf.org/rfc/rfc2543.txt>